

経済建設委員会 報告

Economic construction committee report 2023

森林整備の現状
と課題について他

経済建設委員会 報告

Furano city council



家入 茂 委員

二宮利和 委員



佐藤秀靖
副委員長



天日公子
委員長



今利一
委員

経済建設委員の紹介

Committee members

調査項目 (終了)

選定理由と経過



SDGs

1. 「森林整備の現状と課題について」

期間 令和5年6月から8月迄

- 富良野市森林整備計画に基づく人材の育成と確保、地材地消の取組、森林意向調査の実施状況と整備の現状。
- SDGsへの関心が高まる中、地球温暖化防止等の多面的機能を有する森林の、持続可能かつ長期的な視点での適切な森林経営と管理の肝要性。
- 令和6年から導入される「森林環境税」による行政役割の重要性
- 特定技能実習制度を活用した外国人の雇用、J-クレジット制度、木質バイオマスの活用、剪定枝の有効活用、高性能林業機械の導入などの意見も出され議論を掘り下げた。



1. 「森林整備の現状と課題について」

最終報告と提言

1、林業に従事する人材の育成と確保

道立北の森づくり専門学院での人材育成の他、若者に森林・林業への関心を持ってもらえる様、意識の醸成や体験教育の機会を創出する等、新たな取組や情報発信が重要である。

2、地材地消について

民間の建設事業者や製材所等との理解促進と、伐採後の廃材や枝木は迅速な処理や有効活用が求められる為、道立総合研究機構などとの連携、有効活用に向けた調査研究も必要である。

1.「森林整備の現状と課題について」

最終報告と提言

3、森林所有者に対する意向調査について

意思確認は必要不可欠であり、引き続き無回答者や住所不明者に対する着実な追跡調査が望まれる。

森林は「富良野の財産」であり、森林が有する多面的機能の保全・利活用を図っていく為には、全庁的な取組体制を構築していく事が肝要である。



調査項目
(継続中)

2.「労働力の確保について」

期間 令和5年9月より調査中

- 現在の富良野市は人材不足が深刻な問題となっている。
- 本市が行った、「労働実態調査」、「将来のしごとに関するアンケート調査」により労働実態、学生の就業感などの説明を受けた。
- 今後、この実態を捉え、本市が行なっている学卒者地元就職促進事業、Uターン新規就業支援事業などの就業対策、若者やシニア層、市外などからの労働力確保対策の検討を行っていく。



富良野市移住促進情報「リビング・フラノ」
furano
the living



以上、経済建設委員会からのご報告です

～ 詳しくは、下記 QR コードよりご確認ください！～

